

2023年度
埼玉県立大学

専門職連携を学ぶ講座

募集要項



個々の講座において、修了要件を満たした方に修了書を発行します。

さらに、2年以内に「専門職連携を学ぶ講座」の複数の講座を受講し、合計 60 時間以上の講座を受講した方には、文部科学省が認定する「履修証明プログラム」としての履修証明書を発行します。

※詳細は、募集要項 P.5 でご確認ください。

1. 2023 年度「専門職連携を学ぶ講座」開講スケジュール

講座番号	2023-A	講座名	多職種のための チームビルディング研修	開催 方法	対面
申込期間	開講日時		総時間数※	受講料	
5月10日(水) ～5月29日(月)	6月18日(日) 10:00～17:00 7月 2日(日) 10:00～17:00		16時間	6,000円	

講座番号	2023-B	講座名	ファシリテータ研修	開催 方法	対面
申込期間	開講日時		総時間数※	受講料	
5月17日(水) ～6月5日(月)	6月24日(土) 9:30～16:30 7月 8日(土) 9:30～16:30 7月22日(土) 9:30～16:30		24時間	8,000円	

講座番号	2023-C	講座名	IPW を促進する F-SOAP* 研修 (*エフソ・アイピー：生活支援記録法)	開催 方法	対面
申込期間	開講日時		総時間数※	受講料	
6月14日(水) ～7月3日(月)	7月22日(土) 10:00～17:00 8月27日(日) 13:00～17:30 9月23日(土・祝) 13:00～17:30		20時間	7,000円	

講座番号	2023-D	講座名	多職種チームによる実践事例研修	開催 方法	対面
申込期間	開講日時		総時間数※	受講料	
8月23日(水) ～9月11日(月)	10月 1日(日) 10:00～17:00 10月22日(日) 10:00～17:00 11月12日(日) 10:00～17:00		24時間	8,000円	

講座番号	2023-E	講座名	多職種チームによる実地実習 (専門職連携実習：IPW実習)	開催 方法	オンライン及び 11/25のみ対面
申込期間	開講日時		総時間数※	受講料	
9月20日(水) ～10月10日(火)	10月28日(土) 9:00～16:00 11月11日(土) 9:00～16:00 11月25日(土) 9:00～16:00		24時間	8,000円	

注1. 「2023-B」と「2023-C」は日程重複のため、同時受講できません。

注2. 天候や社会情勢等を踏まえて、開催方法を変更する場合があります。

※ 総時間数は、実施時間 45 分のほか、自己学習時間 15 分を踏まえ、1 時間と換算しています。

～専門職連携と多職種連携～

埼玉県立大学は、全国に先駆けて IPE (Interprofessional Education) に取り組んできました。本学は、IPW (Interprofessional Work) を日本で初めて翻訳し、「専門職連携」としました。今回は学外の方を対象とした講座名称等として、現場で多く使用されている「多職種連携」を使用しています。

2. 受講対象者：

各講座の全日程（2日間もしくは3日間）を受講できる方で、以下に該当する方

- 専門職連携について学びたい方
 - 専門職としてのキャリアアップや新たな知見の習得、IPWの実践を目指す社会人の方
- ※受講者の職種や勤務年数など問いません。

3. 定員：

各講座とも 20 名

4. 開催方法及び開催場所：

◎講座番号 2023-A～2023-D の講座：

全日程、会場での対面開催

会場：埼玉県立大学

所在地：〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地

アクセス：東武スカイツリーライン「せんげん台駅」西口から
バス 5 分（徒歩 20 分）

◎講座番号 2023-E の講座：

10月28日（土）及び11月11日（土）：オンライン開催

11月25日（土）：会場での対面開催

会場：埼玉県立大学サテライトキャンパス（埼玉県立小児医療センター8F）

所在地：〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 2

アクセス：JR 京浜東北線・宇都宮線・高崎線 さいたま新都心駅から
徒歩 5 分

※ 受講方法や会場の詳細は、受講者に別途通知します。

※ 2023年4月末現在、対面開催の講座では、参加者の皆様にマスクの着用をお願いしています。

5. 申込方法

各講座の申込期間に、埼玉県立大学のホームページにある WEB フォームより、お申込みください。

なお、都合により申込をキャンセルする場合には、速やかに本学へご連絡ください。



埼玉県立大学 専門職連携を学ぶ講座

検索

専門職連携を学ぶ講座ホームページ

講座案内メーリングリストへの登録

本履修証明プログラムの各講座を含めて、本学で開催される専門職向けの各種講座情報等のお知らせや申込期間をタイムリーにダイレクトメールでお届けするメーリングリストを作成しています。是非ご登録ください。（希望者）



お申込み時に登録された個人情報は、埼玉県立大学の「個人情報の取り扱い（プライバシーポリシー）」に基づき、本学地域産学連携センターからのお知らせにのみ使用します。

メーリングリスト
登録フォーム

6. 受講決定

各講座の開催2週間前までに、受講に関する通知を申込時に記載いただいたメールアドレス宛にお送りします。受講日10日前までに、受講に関する通知が届かない場合には、お手数ですが本学までお問い合わせください。

定員を上回る応募があった場合には、抽選により受講者を決定することがあります。

7. 受講料振込

受講決定通知に記載する振込先に、受講する講座の受講料をお振込みください。

振込期間は、受講決定後～受講日3日前までです。

所定の期間内に振込が確認できない場合には、受講をお断りする場合があります。また、受講料振込後、受講者の都合による返金には応じませんので、予めご了承ください。

8. 事前準備、持ち物など

終日実施する講座については、昼食をご持参ください。学生食堂は営業しておりません。対面開催の講座では、参加者の皆様にマスクの着用をお願いしています。

事前準備はP.6以降のシラバスをください。その他、事前準備・持ち物等がある場合には、各講座の受講決定通知でお知らせします。

9. 修了証の発行

各講座の修了要件を満たした方に対して、修了証を発行します。

なお、専門職連携を学ぶ講座の各講座は、「主任介護専門員更新研修（埼玉県）の法定外研修」および「日本作業療法士協会 生涯学教育制度」の単位やポイントとなります。単位やポイントの付与に必要な修了証は、通常の修了証と様式が異なるため、希望の有無、発行に必要な情報を別途伺います。

10. 履修証明プログラム

埼玉県立大学が実施する「専門職連携を学ぶ講座」は、履修証明プログラム(*1)として文部科学省に認定されています。

下記の交付要件を満たす方に履修証明書を発行いたしますので、希望される方はお申し出ください。申請方法は別途お知らせします。

履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」について

プログラムの目的及び内容

1) 目的

患者・利用者中心のヒューマンケアマインドに基づいて、患者・利用者と共に質の高いケアに向けた専門職連携実践（IPW）及び専門職連携教育（IPE）を円滑に推進できる保健・医療・福祉実践現場の人材育成に寄与する。

2) 内容（編成方針等）

IPW/IPE に関連する理論を背景にチームビルディング、ファシリテーション、生活支援記録法の知識、技術、それらを応用した IPW 事例検討、IPW 実地実習における実践的能力について、段階的または自己研鑽・強化したい内容を選択して IPW/IPE に必要な基礎・実践的能力を学修する。

3) 修了後に身に付く能力

患者・利用者中心のヒューマンケアマインドに基づいて、患者・利用者とともに質の高いケアに向けた IPW/IPE を円滑に推進できる基礎知識・技術及び、実践的能力を身に付ける。

4) 履修証明を行う社会的な意義

近年、日本の急速な少子高齢化、人口減少、家族形態（世帯）の変化、地域支え合いの衰退等は、経済・社会の存続の危機に直結し、現代社会で暮らす人々の生活に深刻な「生活のしづらさ」を増幅させている。人々の健康的な生活を支える保健・医療・福祉等の多様な背景にもつ専門職者が、お互いの専門性の違いを認めあい、対等な関係を築こうとしながら、目標を共有し、共に力を合わせて活動できる IPW/IPE 能力の醸成は、患者・利用者への質の高いケアを提供するために必要不可欠なものとして求められている。

履修証明書 交付要件

- ①「専門職連携を学ぶ講座」の異なる講座を2年以内に複数受講し、合計時間数 60 時間以上を修了した方
- ②埼玉県立大学学則第54条(*2)に定める入学資格を満たす方

*1 履修証明プログラムとは、学校教育法第 105 条及び学校教育法施行規則第 164 条の規定に基づき、大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書を交付するものです。なお、学位が授与されるものではありません。

*2 第54条 本学学部に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 三 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 文部科学大臣の指定した者
- 六 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 七 その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたる者

専門職連携を学ぶ講座 シラバス

講座番号	2023-A		
個別講座名	多職種のためのチームビルディング研修		
担当教員	○善生まり子、山本英子、井上和久、柴田貴美子、佐藤玲子		
開講日時	第1回：6月18日（日）10：00～17：00 第2回：7月 2日（日）10：00～17：00		
総時間数	16時間（6時間×2日間） ＊1時間＝45分間（実質の受講時間）＋15分間（自己学習）		
講座概要	多職種チームの力を発揮してヒューマンケアに取り組むために、多職種連携とは何か、チームとは何か、チームワークの考え方を理解し、チームの活性化に必要な対話スキルを体験的に学ぶ。その対話スキルを活かして、互いの専門性を語り合い、自身とチームを俯瞰する力を身に付け、職場チームビルディングへ貢献できる力を養う。 ＊各内容について、講義、演習（グループワーク）、振り返り（リフレクション）で構成されています。演習では各チームにファシリテータ1名を配置してサポートします。		
到達目標	(1)職場チームを振り返り、受講目的を宣言できる (2)多職種連携が求められる社会的背景とチームの考え方を理解できる (3)チームビルディングに必要な対話スキルを体得できる (4)チーム活動のリフレクションを通じて自身とチームを俯瞰できる (5)多職種チームの力を発揮してヒューマンケアに取り組むために、受講者間で互いの専門性を語り合い、お互いから学び合うことができる (6)わたしの職場のチームビルディングについて表現できる		
講義内容及び方法	開講日	講座内容	講座方法
	第1回 6月18日（日） ※対面 （埼玉県立大学）	1)職場チームの振り返りとわたしの受講目的 2)多職種連携とは及びチームビルディングの理論の背景 3)チームビルディングに必要なヒューマンケアのマインドに基づく対話スキル 4)チーム及び組織の活性化 5)職場チームの語り合い	・講義 ・演習 （グループワーク） ・振り返り （リフレクション）
	第2回 7月2日（日） ※対面 （埼玉県立大学）	1)多職種チームの力を発揮してヒューマンケアに取り組むとは 2)レクリエーションゲームを通してチームビルディングを俯瞰するとは 3)お互いの専門性の語り合い・表現するとは 4)職場チームアクションプラン実践と評価 5)わたしの職場のチームビルディング	・講義 ・演習 （グループワーク） ・振り返り （リフレクション）
＜事前課題＞ 1．ワークシート「わたしの受講目的」に記入して、第1回に持参下さい。研修で出会ったチームメンバーで互いに職場チームを語り合うことを目的とします。 2．ワークシート「わたしの職場チームアクションプランの実施と評価」に記入して、第2回に持参下さい。研修チームにて相互フィードバックすることを目的とします。			

講座番号	2023-B		
個別講座名	ファシリテータ研修		
担当教員	〇小川孔美、國澤尚子、柴田貴美子		
開講日時	6月24日(土)(1日目) 9:30~16:30 (講義・演習:対面) 7月 8日(土)(2日目) 9:30~16:30 (講義・演習:対面) 7月22日(土)(3日目) 9:30~16:30 (実践演習:対面)		
総時間数	24時間(6時間×3日間) ＊1時間＝45分間(実質の受講時間)＋15分間(自己学習)		
講義概要	・多様な意見や価値観を持ったメンバーを望ましい合意形成に導くファシリテーションスキルについて講義と演習を通して学ぶ ・多職種連携実践における様々なミーティング、会議、検討会、講座開催等において必要とされるファシリテーションの基礎習得を目指す		
到達目標	(1) IPW におけるファシリテーションの意義を理解できる (2) ファシリテータの役割について理解できる (3) 効果的なファシリテーションスキルを確認する。 (4) 演習(グループワーク&ロールプレイ)を通してファシリテーション実践の理解を深める。		
講義内容及び方法	開講日	講義内容	講義方法
	第1回 6月24日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	・オリエンテーション ・ファシリテーション総論 ・専門家としての学び3つの基本原理 ・議論のノイズになる参加者への対応 ・ファシリテーションにおける困難性 ・IPW における15の障害	講義・演習
	第2回 7月8日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	・ファシリテータ各論 ・ファシリテーションにおける6つの重要な役割 ・ファシリテーションによる合意形成のステップ ・ダイアログとディスカッション ・ファシリテータコアスキル ・対話型ファシリテーション 問いのスキル	講義・演習
	第3回 7月22日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	・ファシリテータ実践 グループ演習及びリフレクション(個人、グループ)	演習実践

講座番号	2023—C		
個別講座名	IPW を促進する F-SOAIP（エフソ・アイピー：生活支援記録法）研修		
担当教員	○ 嵩末 憲子、小嶋 章吾（国際医療福祉大学大学院 特任教授）2 回目と 3 回目 ※受講者の領域等によりゲスト数名：3 回目		
開講日時	1 回目：7 月 22 日(土) 10：00～17：00 2 回目：8 月 27 日(日) 13：00～17：30 3 回目：9 月 23 日(土・祝) 13：00～17：30（ゲストはオンライン）		
総時間数	20 時間（6 時間×1 日、4.5 時間×2 日） ＊ 1 時間＝45 分間（実質の受講時間）＋15 分間（自己学習）		
講義概要	※3 回とも講義およびワーク（個人・グループ）を実施する ・ F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ ・ F-SOAIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～ ・ 先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW や DX を展望する（講義・演習） ※ゲスト：受講者の目標や職種をふまえ、多機関多職種より依頼（オンライン参加）		
到達目標	F-SOAIP の講義や書換えワークを通じ、IPW や諸課題解決に役立て DX を展望できるようにする。		
講義内容及び方法	開講日	講義内容	講義方法
	7 月 22 日(土) ※対面 (埼玉県立大学)	『F-SOAIP の概要と特徴を学ぶ』 ・ F-SOAIP の概要（定義・DX 等の政策） ・ PDCA サイクルにおける実施段階の経過記録と IPW・諸課題との関連 ・ IPW を可視化する F-SOAIP の理解 ・ F-SOAIP の書換：IPW に役立つ場面 ・ 新たな挑戦を意味づけるリフレクション	※F-SOAIP ワークシート【初回版】提出
	8 月 27 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	『F-SOAIP による IPW を理解する～ミクロレベルの導入とメゾ・マクロ展開～』 ・ 第 1 回リフレクションや課題等を共有 ・ 講義（質問対応と F-SOAIP の応用版（カンファレンスや事例検討、LIFE のフィードバック活用、データ分析、OJT、BCP 等）、特徴的場面（苦情対応、ヒヤリハット、意思決定支援、認知症 BPSD、看取り等） ・ IPW に着目したリフレクション	※8/20 までに F-SOAIP ワークシート【導入版】と質問を提出
	9 月 23 日 (土・祝) ※対面 (埼玉県立大学)	『先進例から導入プロセスや効果を学び、IPW や DX を展望する』 ・ 第 2 回リフレクションや課題等を共有 ◆ゲスト数名による実践報告・交流 ※ゲストは遠隔オンラインか録画 ・ IPW 実践の計画シート・共有 ・ IPW の好循環に向けたリフレクション	※9/16 までに F-SOAIP ワークシート【OJT 版】と質問を提出
事前学習	受講前に F-SOAIP の HP（ https://seikatsu.care/ ）をご確認ください		

講座番号	2023-D									
個別講座名	多職種チームによる実践事例研修									
担当教員	○井上和久、國澤尚子、善生まり子、山本英子、久保田章仁、押野修司、柴田貴美子、佐藤玲子									
開講日時	1 回目：2023 年 10 月 1 日(日) 10：00～17：00 2 回目：2023 年 10 月 22 日(日) 10：00～17：00 3 回目：2023 年 11 月 12 日(日) 10：00～17：00									
総時間数	24 時間（6 時間×3 日間） ＊ 1 時間＝45 分間（実質の受講時間）＋15 分間（自己学習）									
講義概要	受講者が経験した自施設の事例についてチームで検討し、連携における課題の明確化、解決策の模索などを行います。この検討プロセスを通して、チームでのディスカッションを体験します。また、チームで検討した内容およびプロセスを発表し合い、多職種チームによる実践事例課題の理解を深めます。 受講者 5 名毎に 1 グループを編成し、各受講者の事例（5 事例）について、多職種の課題を明確化し、課題解決策について検討し発表資料を作成します。 1. 各受講者の連携における課題の明確化 2. 課題解決策の検討 3. プレゼン資料の作成 4. 発表 5. リフレクション									
到達目標	受講者全員が自施設における事例について、課題解決策を身に付ける。 1. 多職種チームの課題の明確化 2. 課題の解決策を検討できる 3. 検討した課題について発表資料作成ができる									
講義内容及び方法	<table><tr><th>開講日</th><th>講義内容</th></tr><tr><td>10 月 1 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)</td><td>1. IPW の基礎(講義) 2. IPW におけるリフレクション(講義) 3. オリエンテーション 4. アイスブレイク 5. コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 6. 事例について検討（1） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション</td></tr><tr><td>10 月 22 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)</td><td>1. 事例について検討（2） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 2. 事例について検討（3） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. グループ発表</td></tr><tr><td>11 月 12 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)</td><td>1. 事例について検討（4） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 2. 事例について検討（5） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. グループ発表</td></tr></table>		開講日	講義内容	10 月 1 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	1. IPW の基礎(講義) 2. IPW におけるリフレクション(講義) 3. オリエンテーション 4. アイスブレイク 5. コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 6. 事例について検討（1） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション	10 月 22 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	1. 事例について検討（2） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 2. 事例について検討（3） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. グループ発表	11 月 12 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	1. 事例について検討（4） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 2. 事例について検討（5） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. グループ発表
開講日	講義内容									
10 月 1 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	1. IPW の基礎(講義) 2. IPW におけるリフレクション(講義) 3. オリエンテーション 4. アイスブレイク 5. コミュニケーションスキルと時間管理について(講義) 6. 事例について検討（1） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション									
10 月 22 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	1. 事例について検討（2） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 2. 事例について検討（3） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. グループ発表									
11 月 12 日(日) ※対面 (埼玉県立大学)	1. 事例について検討（4） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 2. 事例について検討（5） 1) 連携における課題の明確化 2) 課題解決策の検討 3) プレゼン資料の作成・発表 4) リフレクション 3. グループ発表									

講座番号	2023—E														
個別講座名	多職種チームによる実地実習（専門職連携実習：IPW 実習）														
担当教員	〇田口孝行、〇丸山優、岡田茂治、押野修司、高橋恵子、山岸直子、吉村基宜、保科寧子、柴崎智美(埼玉医大)、酒本隆敬（特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館）、内海巨史（介護老人保健施設ピッラ・ベッキア）														
開講日時	10月28日(土) 9：00～16：00（講座：遠隔オンライン） 11月11日(土) 9：00～16：00（実地実習：遠隔オンライン） 11月25日(土) 9：00～16：00（発表会、リフレクション：対面）														
総時間数	24 時間（6 時間×3 日間） ＊1 時間＝45 分間（実質の受講時間）＋15 分間（自己学習）														
講座概要	実地実習（実際の利用者様の協力）を通して、利用者中心の統合されたケアを創造するための「利用者・集団・地域の問題解決プロセス」、「チーム形成プロセス」、「地域連携プロセス」に意図的に目を向け、専門職連携（IPW）の課題やあり方を考える。また、各所属施設でのより良い IPW に向けた課題や解決策についても考える。														
到達目標	(1)利用者・集団・地域の理解と課題解決の実践方法を意図的に確認する (2)チームメンバーの専門性と多様性を相互理解する態度を意図的に確認する (3)チーム形成プロセスと協働の実践方法を意図的に確認する (4)組織や機関間・地域連携プロセスの実践方法を意図的に確認する (5)自己課題、チーム課題、地域連携課題等を見出すリフレクションができる														
講義内容及び方法	<table><tr><th>開講日</th><th>講座内容</th><th>講座方法</th></tr><tr><td>第 1 回 10月28日(土) ※オンライン</td><td>1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る（自己紹介） 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備</td><td>講義 講義 講義 グループワーク グループワーク</td></tr><tr><td>第 2 回 11月11日(土) ※オンライン</td><td>6)IPW 実習（2 施設の協力） ・情報収集・ディスカッション・情報共有 ・支援方針・計画（案）の検討 ・発表会に備えた発表内容・資料の整理</td><td>実地実習</td></tr><tr><td>第 3 回 11月25日(土) ※対面（埼玉県立大学サテライトキャンパス）</td><td>7)チーム発表とディスカッション 8)リフレクション ・自己の課題、チームの課題、専門職としての課題、地域連携課題の明確化 ・受講者の各所属施設における IPW の課題</td><td>発表 グループワーク</td></tr></table>			開講日	講座内容	講座方法	第 1 回 10月28日(土) ※オンライン	1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る（自己紹介） 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備	講義 講義 講義 グループワーク グループワーク	第 2 回 11月11日(土) ※オンライン	6)IPW 実習（2 施設の協力） ・情報収集・ディスカッション・情報共有 ・支援方針・計画（案）の検討 ・発表会に備えた発表内容・資料の整理	実地実習	第 3 回 11月25日(土) ※対面（埼玉県立大学サテライトキャンパス）	7)チーム発表とディスカッション 8)リフレクション ・自己の課題、チームの課題、専門職としての課題、地域連携課題の明確化 ・受講者の各所属施設における IPW の課題	発表 グループワーク
開講日	講座内容	講座方法													
第 1 回 10月28日(土) ※オンライン	1) IPW/IPE について 2) IPW におけるチーム形成と活動 3) IPW 実習の目的・目標・方法 4) チームメンバーを知る（自己紹介） 5) 対象者の情報共有・IPW 実習準備	講義 講義 講義 グループワーク グループワーク													
第 2 回 11月11日(土) ※オンライン	6)IPW 実習（2 施設の協力） ・情報収集・ディスカッション・情報共有 ・支援方針・計画（案）の検討 ・発表会に備えた発表内容・資料の整理	実地実習													
第 3 回 11月25日(土) ※対面（埼玉県立大学サテライトキャンパス）	7)チーム発表とディスカッション 8)リフレクション ・自己の課題、チームの課題、専門職としての課題、地域連携課題の明確化 ・受講者の各所属施設における IPW の課題	発表 グループワーク													

「専門職連携を学ぶ講座」に関するお問い合わせ

埼玉県立大学 地域産学連携センター

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820

TEL : 048-973-4114 FAX : 048-973-4807

e-mail : edec@spu.ac.jp

ホームページ : <http://www.spu.ac.jp>